

平成28年度 第1回南風原町総合教育会議

署名人 教育委員長 赤嶺幸信
町長 城間俊安

1. 開催日時 平成29年1月23日(火) 午後2時30分～午後4時
2. 開催場所 南風原町役場 5階 委員会室2
3. 出席者
南風原町長：城間 俊安
南風原町教育委員会：赤嶺幸信委員長、仲宗根廣美委員、平田峯子委員
大城雅史委員、赤嶺正之教育長
4. 協議事項
(1) 平成29年度当初予算に関する意見書について
(2) 第二次南風原町教育大綱(案)の策定について
5. 出席職員
事務局(総務部総務課)：儀間総務課長、親川主事
教育委員会総務課：宮平教育部長、野原教育総務課長、平田班長
6. 傍聴人 0名
7. 議事の経過 次のとおり

平成28年度 第1回南風原町総合教育会議 会議録

事務局 皆さんこんにちは。これより平成28年度第1回南風原町総合教育会議を開催致します。この会議は要綱の6条で事務局を南風原町役場総務課で行うことが規定されていますので、進行役は総務課の私、儀間が進めさせていただきますのでよろしくお願いいたします。

では会議の開催にあたり、始めに町長の方からご挨拶をいただきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

城間町長 はい、皆さんこんにちは。今日は、給食週間に開催される年に一度の給食交流会がありました。本町には、2中学校4小学校ありますが今回は北丘小学校と南星中学校の2校で給食交流会を実施し子ども達と一緒に食べて食べてもらって非常に有意義な時間を過ごすことができました。子ども達と一緒に給食を摂ることにより、子ども達から元気をもらい、爽やかな気持ちになりました。

去年から総合教育会議を開催しておりますが、今までは教育委員会と町長部局と分離した形でありました。青少年に与える影響というのは教育部、町長部局と別々ではなくて一つの方針としてやっていくことが子ども達に対して与える影響というのは大きいのかなということを痛感し、一つの機関として対応することが一番大事だと思っております。町長部局からすると教育部において感じない部分、そうじゃなくて感じてもらうことが一番大事だと思っておりますので、ぜひいろんな角度から、認識を共通するような形で進めて行ってもらえればありがたいなと思います。皆さんのご協力をぜひお願いし、またいろんな角度から切磋琢磨していくことが一番大事だと思っておりますので、皆さん方のご協力をお願いしたいと思っております。本当に忙しい中こうして足を運ばれたことに感謝申し上げます。ひとつよろしくお願ひいたします。

事務局 町長ありがとうございました。つづきまして赤嶺幸信教育委員長より一言お願ひいたします。

赤嶺教育委員長 皆さん、こんにちは。委員長あいさつを申し上げます。教育委員会制度改革に伴い、平成27年度より総合教育会議が開催されており、今回で2回

目となりますが、町長と教育委員会がさまざまな協議を重ねることで、より一体となった教育行政が行われることや、教育の質の向上につながることへの期待を感じております。本町はこれまでに幼稚園教育の改革で、専任園長制、給食の完全実施、土曜預かり保育の実施、4歳児からの2カ年教育、園舎の増築、それから北丘小学校の全面リフォーム、小・中学校への電子黒板の導入等、教育環境を前進してまいりました。整備された教育環境の中で子ども達は充実した園生活や学校生活を過ごしております、しかしまた現在の社会状況では、子どもの貧困対策問題や待機児童問題等の課題がありますので、さまざまな立場や考えを持って、町民の意見を教育行政に反映する私達教育委員と、町民の方々より町政を任された町長とがこれまで以上に連携していくことで、南風原町の子どもたちの健やかな成長のため、南風原町の教育のさらなる発展につながるものと思っております。ひとつ本日はよろしく願いいたします。

事務局 赤嶺委員長ありがとうございました。それではさっそくですが、この議事の進行は町長となっておりますので町長よろしく願いいたします。

城間町長 では改めまして、本日は平成28年度第1回総合教育会議にお集まりいただきまして、ありがとうございます。本日の協議事項は、第1号議案平成29年度当初予算に関する意見書について、第2号議案第二次南風原町教育大綱（案）の策定についてとなっております。それでは1号議案平成29年度当初予算に関する意見書について、教育部長より概要の説明をお願いいたします。

宮平教育部長 それでは、第1号議案平成29年度当初予算に関する意見書について、私の方から読み上げて提案していきたいと思えます。

～ 宮平教育部長より「平成29年度南風原町一般会計当初予算に関する意見書」を読み上げて提案 ～

以上が平成29年度一般会計当初予算に関する概要となります。よろしく願いします。

城間町長 今、説明がありましたが、これに対して何かご意見があればお願いします。

赤嶺教育 町長よろしいでしょうか。

長

城間町長

はい、どうぞ。

赤嶺教育
長

今部長の方から予算について提案がありましたけれども、私から3点ほど説明をさせていただきます。これまでに一括交付金を活用して、人材育成事業や学力向上推進事業、それから学校環境整備関係の事業等々を推進してまいりました。平成29年度も引き続きこの一括交付金をぜひ活用させていただきますよう、ご配慮をお願いしたいと思います。それから、要保護準要保護関係と幼稚園の就園援助ですが、そのあたりも継続的にやることで効果がでてきますので、その件についてもぜひご配慮をお願いしたいと思います。幼稚園の事業でございますが、町長のご配慮で先ほど部長からも説明がありましたように、いろんな改革を進めてきておりますけれども、まだまだ道半ばのところがありますので、ぜひマンパワーの確保については、教育委員会も一生懸命頑張りますので、ぜひその辺の応援方も町長をお願いしたいと思っております。

2点目は、報告でございます。町長のご配慮で特に暑い教室はできるだけクーラーを整備しようというお話をいただいておりますが、その前に本町はオープン教室を推進してきた関係上、これを検証しましょうと、町長からこれを検証しないと説明がつかないんじゃないですかというご指摘もございましたので、今担当の方で検証しています。今月の定例教育委員会の中で審議をしまして、町長にご報告したいと思っております。

3点目は給食費です。できれば平成29年度に調査研究をしまして、教育委員会といたしましても議論をしまして、平成30年の4月から給食費の改正ができればという考えを持っております。諸般の事情でもし前倒しできるのであれば、早めに検討を始めても良いのかなと思っておりますので、ご報告いたします。

城間町長

学校給食に関しては、要保護準要保護の皆さん方への支援については継続しており、本当に生活に困った世帯に援助を行っております。行政としても給食費だけではなくて、2年前から医療費も中学校3年生まで無料化（償還払い）しております。しかし、これも即実感として湧いていないんじゃないかということがあり、今年の1月から現物給付することにより、お金の支払いがなくても病院受診、薬の処方が受けれることにより医療費の無料化が今は実感として湧いているとの声があります。以前はお金に「ゆとりがないから」、「病院に行ったらいくらかかるか分からないから」、との理由で少しは病院受診を我慢したとの声がありましたが、今は、容体が

おかしければすぐ病院に連れていけると喜びの声があります。また歯が痛くて歯医者に行くべきのをそのまま放置すると、集中力も無くなってくるし、どこか体調が悪いとイライラし不安定になることがあるので、こういったのを一步一步解消することができるのかなということを痛感しております。

ある施設の子どもをみて感じたことは、全部歯が虫歯で真っ黒で、歯は何本も欠けているが、でも痛さはないと。検診では歯医者にいきなさいと言われていたが子どもは痛いとは思ってないからそのまま放置されていると。しかし、これを見た施設のスタッフが病院に連れて行き診察できるようになったことを喜んでおります。また別の小さい子どもは歯医者に行きたいが、親の懐をみて厳しい状況だからということで、もう痛くないからと我慢したという子どももいましたが、そういうことも解消されております。

赤嶺教育
長

町長がおっしゃる通り、やはり困っている世帯については、しっかりと支援をして行きたいと思えます。準要保護の申請をしてもらって、認定があればこれで給食費は納めることができますので、そのあたりを教育委員会としても進めて行きたいと思っております。

城間町長

狭間の人達が給食費を滞納されていますからね。本当に困っている人達は生活保護費から100%扶助されていますが、この狭間の人達が、経済的に厳しい状況にありますね。

赤嶺教育
委員長

要保護の方は生活保護費で給食費等も賄われています。生活が厳しい方でも生活保護に該当しない方もいます。この人達が就学援助制度を申請して受けられるように予算面での配慮をお願い致します。

中学3年生まで子どもの医療費の無料化が現物給付で行われている事は、画期的なすばらしい事と思えます。

城間町長

クーラーの件に関しては、議会、保護者からも設置要望があります。普通教室の整備については、以前は教育委員会から、子ども達の学習向上のためにもオープン教室が望ましいという方針があり普通教室へクーラーの整備方針はありませんでした。しかし、時代の流れ、社会状況の変化によりクーラーの設備について強い要望があることは理解しております。

赤嶺教育
委員長

オープン教室は推奨されていた時もあり、教育効果の面でも利点があります。しかし、沖縄の気候からすると夏場はクーラーが必要です。県内の

進学校の私立高等学校は20数年前から教室にクーラーが設置されています。学習効果の面でもよい影響を与えていると思います。現在、各家庭でクーラーがあり、涼しい環境で生活している状況を考えると、小・中学校でも教室にクーラーの設置が望ましい時期にきていると思います。

城間町長 先ほど教育長からもありましたように、教育委員会で普通教室の整備については整備方針を整備して下さい。

平田委員 この医療費の無料化というのは、病院に行ったらその日でお金も支払わないで、診察が受けられるということですか？

城間町長 はい。

平田委員 薬ももらえるということですが、子どもが自分だけしか家にいなかったとか、誰も連れて行く人がいなかったとかの場合、この券をもっていけば子どもだけでも受診できるのでしょうか。保護者がいないとだめですかね。

城間町長 医療費の無料化は別として、病院への受診については基本的には保護者とか大人、誰かが一緒に行かないといけないんじゃないでしょうか。

平田委員 大きな兄姉と一緒にとか。

城間町長 大きな兄姉がいたら受診へ行けるのはわかりますが。基本的には保護者や大人同伴がふさわしと考えております。

赤嶺教育長 普通、子ども一人では病院には行かないんじゃないですかね。急なケガとかだったら分かりますが。風邪等ひいて休んでいる時は保護者がちゃんと病院へ連れて行って、診察を受けさせれば診察代は子どもは無料になるわけですので。償還払いではなくなるということですから。元々南風原町では中学校3年生まで無料ですので。

城間町長 保護者や大人が同伴してもらわないと困るというのは、何か起こった場合とか予期せぬことが起こった場合とかには、この責任問題は問われることになると思いますので。

平田委員 保護者か誰か大人と一緒に着いて行かないといけないですね。

仲宗根委員 はい、よろしいでしょうか。場所はどこだか忘れたのですが、父兄が集まって話をしている、「教育は南風原が一番よね」という声が聞こえてきたんですね。とてもうれしく思いました。そういうのが2回くらいありましたかね。町長が、子どもが大事とか教育が大事とか日頃おっしゃっていらっしゃることが、この大綱を見ると教育委員会とがとても具体的に丁寧に細かく全部、教育長も一緒に頑張っているのが染み通って、他の市町村の人達にまで知られているんだなと思ってとてもうれしくなりました。

医療費のことや給食費、幼稚園の援助等そういったものに対する支援が南風原は素晴らしいんだなと思います。私の周りからも南風原に住みたいという人をいっぱい聞きます。とても南風原は人気があると思います。これからもよろしくお願いします。

城間町長 こういうふうには行政がまたは教育委員会が、子ども達や父兄から喜ばれるということは、経済的にも波及効果に大きく繋がっておりと思います。その一例として、南風原町にはマンション、アパートがどんどん建ててきておりますが、空き室が少ない状況であると聞いております。

赤嶺教育委員長 学校支援地域本部事業は最初は予算は国が負担し、後からは市町村が負担という事で、予算の確保が不十分でじり貧になる事もあります。本町は町長はじめ財政当局の理解を得て、今日まで充実した事業を展開してよい成果を上げています。これからもご配慮をお願い致します。

城間町長 学校支援地域本部事業をとおして多くの町民が、学校に対する支援をなされていることは大きな効果があると思います。ボランティアで支援されている先生方は学習面だけではなくて、いろんな面で支援を行っているのでとても効果があるものと理解しています。また、学校の先生方も一人で対応できない等、子ども達も個人差があることからこのボランティア支援員の皆さんにサポートしてもらっていることで大きな効果があると思います。

赤嶺教育長 年一回のボランティアの方々の懇親会の「感謝の夕べ」は毎年盛り上がっていて、最初の頃から比べると参加者は2・3倍になっているんじゃないでしょうか。約400人くらい集まっていると思います。

仲宗根委員 いろんなところであちこちで町長の考えと、教育委員会の考えがどんどん広がって染み渡っていったら感じます。生涯教育もそうだし、学

校支援事業もすばらしいですね。

平田委員 この学校地域支援事業で、ボランティアを募る時は老人会とか地域の方とかに声かけをしてやるんですが、懇親会での料理作りの時には今は核家族化で4～5名分ずつしか作らないけど、この懇親会では皆と一緒にたくさん料理を作るからとても楽しいさーとか、また来年も協力しましょうねとの声があります。

赤嶺教育長 この学校支援地域本部事業が定着してきてから、学校に対する批判が少なくなったような気がしますし、内容もだいぶやわらかくなりました。やっぱりそれだけ応援隊として学校にきているので、苦情も少なくなっているようです。

平田委員 教育長からも調理室のボランティアの方々にいつも激励やお礼の言葉も頂いていますが、そういった効果も出てますよーと話したら、また皆さんも頑張りがいがあると思います。

赤嶺教育長 各字の老人クラブの皆さんも一生懸命応援してくれますよね。総合学習の時間はほとんど活用しています。

仲宗根委員 素晴らしいですね。

赤嶺教育委員長 老人会が非常に協力的ですね。

平田委員 昔遊びとかですね。

城間町長 今の老人会の方々でも昔遊びを忘れていた部分があったりして、それをまた上の先輩方から教わったりしているとも聞きました。ビー玉とかポーカーとか細かい部分の遊びで。子ども達よりむしろ老人会の方が勉強していると聞きました。

赤嶺教育長 子ども達に教えるために老人会も勉強されているみたいですので、自分自身の勉強にもなり、良い繋がりができていると思います。

～ 休憩 ～

城間町長 ある程度意見は出尽くしていると思いますが、他に何かありますでしょ

うか。
なければ「当初予算に関する意見書について」は協議を終了してよろしい
でしょうか。

各教育員 はい。

城間町長 ありがとうございます。

続きまして、第2号議案第二次南風原町教育大綱(案)の策定について、教
育総務課より説明をお願いします。

教育総務
課長 はい、それでは資料2でございます。教育大綱(案)を読み上げて説明
致します。

～教育総務課長より「第二次南風原町教育大綱(案)を読み上げて説明～
以上でございます。

城間町長 ありがとうございます。第二次南風原町教育大綱(案)について説明
がありましたが、これについて皆さまからご意見をお伺いしたいと思いま
す。

この大綱は大変素晴らしい大綱だと思っているんですが、これは飾る大
綱ではなくて、行動して実践しないことには、絵に描いた餅になることも
ありますので。ご意見があればお願いします。

仲宗根委
員 全部実践されているような感じがします、一生懸命頑張っていて広報誌
にもいろいろ載っていて実践されているような気がしますが。

赤嶺教育
長 どうしても教育になりますと学力が注目されますけれど、そういうこと
だけではなくて、別な面でも本町は良い傾向にあります。ちょっとした悪
ふざけ等はあるんですが陰湿ないじめは発生していませんし、「知・徳・体」
の「徳」というところではしっかりと学校で取り組んでいると感じていま
す。学力は、3～4年連続して全国平均を上回っている小学校の方が
良い状況です。中学校も県平均には達していますが、この子達が中
学校にいつ伸びないというのが、どうしたのかなという疑問は残ります。

城間町長 学校だけではなくて、家庭も地域も大事だと思いますね。

赤嶺教育
長

町長のおっしゃる通りだと思います。

大城委員

今日は給食体験で、南星中学校の1年4組にお邪魔しましたがちょうど「知・徳・体」の目標をそれぞれ書いて机に貼ってあるのが印象的でした。その目標を一年間を通してやるってということが伺えたのと、まだ1年生は元気あるんですが、2年、3年生になってくると挨拶しても返してこない子もいますし、その辺が何でかなと思います。恥ずかしがっているのか。というのを感じたりしてます。

あとは地域の文化・伝統芸能等になるんですが、南風原のかすりの部分をもっと浸透できればと思います。かすりの工程が大変というのものもあるかも知れませんが、それを子ども達に伝えることによって、もっと南風原の伝統芸能・工芸をもっとアピールできるんじゃないかなと感じてます。かすりをもっと全面に出して行って、かすりにはこんな歴史があってこんな風に変なんだよというのを、皆に知らせないと。地域にいる子ども達がかすりを発信していく、そういった地域作りが大事だと思っています。

～ 休憩 ～

赤嶺教育
委員長

学校では児童生徒の自己肯定感を育成するため、児童生徒の良さを見つけ、伸ばす方向で教育しています。先程話しにありました伝統芸能等は、児童生徒の自己肯定感育成に貢献できると思います。本県の伝統文化の芸能、工芸品、空手等は世界的にも高い文化財として評価されています。伝統文化は児童生徒の故郷の祖先が長い年月をかけて受け継いで発展させたものです。この伝統文化を体験したり、見学したり、話を聞く事は、自分の故郷に誇りを持ち、自らのアイデンティティーに誇りを持つことで自己肯定感につながると思います。地域の大人が故郷の伝統文化を児童生徒に教える事は大切な事と思います。

仲宗根委員

これからはとても大事な事ですね。

赤嶺教育
長

先ほど、町長がおっしゃったように家庭或いは地域、両方との結びつきが大事だと思います。学校応援隊はえぼるに、学校からお願いすることになりますが、逆に地域の方から学校に何かお願いするということがないのかどうか、地域と学校との関わりができてくれば家庭・地域・学校と一つの繋がりが出来てくるんじゃないかなと思います。具体的にどのような取り組みで良いか、まだそこまではいっておりませんが。

仲宗根委員

これが一番必要かもしれないですね。

赤嶺教育長

例えば宮平の獅子舞の担い手を学校から派遣してもらおうとか。具体的にいろんなことをやらないといけないかもしれないですね。

平田委員

かすりロードに花植え活動をやっているんですけど、花を植えるスペースがちょっと小さいような感じがしますね。このかすりロードを通過して部落内の古民家の「謝名家」で観光協会がイベントをやっているんですが、地域でも何かやりませんかという話がありまして、本部はハーベールーの伝統芸能を復活して小学生も一緒にあっちこっちでやっているんですね。もう5年ぐらいになります、資金が足りないから本部の地域の人達で、材料を持ち寄って何か自分達で作ったり、野菜を販売したりかすりのコサージュを作ってPRもしながら地域で頑張って何か販売できるようなシステムを考えてその予算で子ども達に何かまたできないかなと今部落で話しているところです。

城間町長

補助金(助成金)がある間はいいかもしれないが、これが途切れた後は自立できるように、今後もそのまま継続してできるような取り組みにつないでいかないと、補助金がなくなれば途切れるのではなくて、今は一つの助走期間だと思うので、助成されなくても自立できるような形にもっていかないことには。

平田委員

子ども達も一生懸命頑張っていて楽しいと言っています。

仲宗根委員

南風原は勉強だけじゃなくて、スポーツもとても盛んでここ(大綱)に書かれているものが、町長が「絵に描いた餅」にならないようにとおっしゃってましたけど。これは全部実践されているような感じがしますので、大変素晴らしいんじゃないかなと思います。これからも充実させていければそれでいいんじゃないかなと思います。

貧困家庭の件でこれが一番気になっていたんですけど、この前の広報誌で予算の記事が一番予算がとられているのが要保護等家庭のもので、その次に教育費だったので、すごいたくさんの予算が貧困家庭に充てられているんだなと思って感激しました。とてもいい施策だなと思いました。

～ 休憩 ～

赤嶺教育 委員長	先ほど仲宗根委員からもありましたように、「大綱」には素晴らしい内容が盛り込まれていますから、私達はまたそれを、町長がおっしゃったように単なる飾りにならないように実践していくことが大事だと思います。
教育総課 長	ここで事務局から補足の説明があります。この教育大綱ですが元となっている第5次南風原町総合計画が3月議会で最終的に可決されます。大きい骨組みとかは変わらないと思いますが、文言の表現とかが若干変わる可能性があります。議会で可決された部分の表現で最後は「教育大綱」を作るということを、ご理解をお願いしたいと思います。
城間町長	この「教育大綱（案）」についての意見、質問はありませんでしょうか。なければ、このようにまとめさせていただきます。協議事項については、以上となっております。続きまして、今後の予定について事務局の方からお願いします。
事務局	はい、今日はこうしていろいろ議論していただきましたが、今回の会議録の議事録につきましては後日ホームページの方で公開予定となっておりますが、委員の皆さまには事前に会議録の内容を確認していただきますのでよろしくお願いいたします。今後の総合教育会議は必要に応じて開催していく事になっておりますので、その際にはよろしくお願いいたします。以上です。
城間町長	町も教育委員会も一つだという気持ちで連携し、その効果として児童、生徒、青少年への健全育成に繋がるものと思っておりますので、今後も引き続き連携してまいりますのでよろしくお願いいたします。本当に今日はご苦勞様でした。